

やまなしの福祉

1 No.351
2020
月号



特集

第67回 山梨県社会福祉大会 ～ひきこもりを考える～



写真：第67回山梨県社会福祉大会式典(上段)、記念講演の様子(下段左)、表彰式(下段右)

- P2 【報告】第67回山梨県社会福祉大会
～講演「ひきこもりの正しい理解と支援」～
- P3 設立から5年「山梨県桃の会」
- P4 山梨県ひきこもり地域支援センター
- P5 【報告】赤い羽根共同募金街頭募金活動
【報告】生活福祉資金貸付研修
- P6 【報告】いきいきやまなしねんりんピック
- P8 【報告】全国健康福祉祭 和歌山大会
- P9 福祉用具紹介
- P10 【報告】ボランティア・NPOセンター講座
※連載「社協ボランティアセンター情報コーナー」はお休みです



facebook

フェイスブックはじめました!



第67回山梨県社会福祉大会を開催

～132名、32団体が山梨県社会福祉協会長表彰・感謝状を受賞～

11月27日、第67回山梨県社会福祉大会（主催：山梨県社会福祉協議会、山梨県共同募金会）を甲府市のYCC県民文化ホールで開催しました。各市町村の社会福祉協議会、民生委員・児童委員の方々をはじめ、県内の社会福祉関係者など約1,000人が参加しました。第1部では、表彰・感謝状の贈呈、第2部では、「ひきこもり」をテーマにした記念講演を行いました。



第67回山梨県社会福祉大会



芦澤県社協会長より表彰状・感謝状の贈呈



会場に詰めかけた参加者

多年にわたり社会福祉に 尽力されてきた方々の社協表彰

県社協会長表彰・感謝状の受賞者・団体数は次のとおりです。

	表彰区分	受賞者・団体数
表彰状 127名 20団体 (計147)	民生委員・児童委員	50名
	民間社会福祉施設役職員	25名
	民間社会福祉団体役職員	22名
	優良社会福祉協議会	1社協
	ボランティア活動功労(個人)	30名
感謝状 5名 12団体 (計17)	ボランティア活動功労(団体)	19団体
	公立社会福祉施設職員	3名
	金品寄付・労力提供(個人)	2名
	金品寄付・労力提供(団体)	10団体
	特別感謝状	2団体

なお、知事表彰は、34名、14団体が受賞され、また中央共同募金会会長感謝楯・感謝状は、2名、5団体への伝達が行われました。

記念講演

「ひきこもりの 正しい理解と支援」

NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会理事／ジャーナリスト

池上正樹さん

第2部の記念講演では、NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会理事／ジャーナリストの池上正樹さんが「ひきこもりの正しい理解と支援」と題して講演しました。

20年以上にわたって「ひきこもり」の取材を続け、1,000人以上の当事者とやりとりしてきた池上さんは、長期化、高齢化するひきこもりの現状について解説。当事者や家族への支援が途絶してしまう実態を、事例を挙げて紹介しました。そのうえで周囲にできることとして「否定する言葉は悲劇を生みます。自立を迫るのではなく、本人の現状を受け止め、あいさつするだけでもいいから、さりげない声がけをすることが大切。『自分も放っておかれていない』という安心感や肯定感につながります」と話しました。



「ひきこもり」互いに支え合う

ピアサポートの場を増やしていきたい

山梨県桃の会

全国で100万人を超えるといわれる「ひきこもり」。本人も親も周囲に打ち明けられず、社会から孤立しがちです。県内のひきこもりの子を持つ親や当事者たちが「山梨県桃の会」を立ち上げて5年がたちました。会長の篠原博子さんに5年間の活動、今後の方針、思いなどについて伺いました。



山梨県桃の会会長の篠原博子さん

Q 設立のきっかけは?

特定非営利活動法人「KH」全国引きこもり家族会連合会からの働き掛けがきっかけです。甲府市内で開かれた講演会を契機に、同連合会山梨支部として「山梨県桃の会」が発足しました。それまで山梨県内には、ひきこもりの子の親たちや本人が集う場所がありませんでした。

Q どのような活動をしていますか?

毎月の例会、勉強会、ピアサポート※、会報誌の発行が中心です。親同士が話すことで結び付きが強まっていきます。今まで話す場や機会がなかった親にとって不可欠な時間だと、あらためて感じています。

※ピアサポート 同じ症状や悩みを持ち、同じような立場にある仲間＝英語で「peer」(ピア)＝が、体験を語り合い、ともに回復を目指す取り組み。がんなどの病気や教育現場などさまざまな分野で行われるようになっていきます。

Q 5年間の活動を振り返っていかがでしょうか?

最初の2年くらいは、試行錯誤の連続でした。同じ仲間同士で助け合うピアサポートを始めたことが、活動が深まっていく契機になりました。

ひきこもりは、親の問題です。親が幸せな気持ちにならないと、子どもも幸せになりません。まず親をサポートします。これは家族会として出来る一番のことだと思います。

なかなか本音で話さない方もいます。「自分は人と付き合いなくても大丈夫」と、話をほとんどしない方がいました。でも「子どもはなんとかしたい」という強い思いを持っていました。この方をピアサポートに誘い、1年たった頃、自分から話を始めました。私たちを信じて本音を話してくれるようになった、と思ううれしかったですね。ピアサポートに来なかったら、孤立していったと思います。ピアサポートの大切さを実感しました。

Q 地域の関わり方、支援についてどのような方法があるのでしょうか?

ピアサポートを北杜市や甲府市でしています。ピアサポートでは、問題を抱えた親御さんが2、3人、桃の会からも2人くらい出て話をしています。ただ、山梨も広いので参加者の住んでいる地域の近くでないとなかなか集まりません。ピアサポートの活動場所を増やしていきたい。場所の提供など、ピアサポートへの多くの方の理解と協力をお願いできればと思います。

Q 今後の活動は?

家族、当事者が自分で対応できるまで会でサポートし、また、そうした方たちが今度は、会のメンバーとして一緒に活動していく、それを繰り返していくしかないと考えています。ひきこもりからの完全復活は難しいからです。社会復帰したからといって、それはゴールではありません。家族は、社会に出たから安心と思いがちですが、本当に大変なのはここからです。そのためにも、活動を続けて、ピアサポートをしていくことが大切だと思います。

先日、当事者たちの支援をしている山梨県中北保健福祉事務所の芦沢茂喜さんに、例会で講演をしていただきました。「過去を振り返るばかりしていても仕方ない、今できることをやろう」と、おっしゃっていました。ピアサポートを続ける中で、ささいなことでも今できることをやっていきたいと思っています。



北杜市高根町の雑貨店「Verde(ベルデ)」の店内では、当事者が手作りした熊のぬいぐるみが販売されています。お店の好意で置いていただいています。輸入雑貨と並べても遜色ない出来で買い求める人も多いです。店内の喫茶スペースは、峡北地域のピアサポートの場にもなっています。

お問い合わせ 山梨県桃の会ホームページ(<http://momonokai.org/>)からメールでお問い合わせ下さい。

ひきこもり支援へ

市町村、関係機関、 地域住民と協働

山梨県ひきこもり地域支援センター・ひきこもり相談窓口 (山梨県立精神保健福祉センター)

山梨県立精神保健福祉センターでは20年以上前から、ひきこもりの相談・支援を行っています。県では、平成27年10月に、ひきこもりの当事者や家族からの相談を受け付ける専門の相談窓口を設置しました。さらに、平成29年4月には、「ひきこもり地域支援センター」を開設し、相談窓口を移設して当事者や家族への支援(直接支援)にあたり、相談件数は1390件(平成27年10月9日～平成31年3月31日)にのぼります。

また、市町村等住民により身近な場所でのひきこもり支援を充実・強化するため、体制作りへの支援(間接支援)にも力を入れています。

延べ1390件の相談

相談実件数は、平成27年10月9日から平成31年3月31日までの間に340件(延べ1390件)となっています。このうち、年代別では40歳未満229件(67.4%)、40代以上94件(27.6%)でした。ひきこもり期間別では、確認できた85件のうち、3年以上は38件(44.7%)、さらに10年以上は21件(24.7%)でした。相談内容別は、「本人(当事者)への対応について」は130件(38.2%)「就労・自立について」は105件(30.8%)などとなっています。

当事者、家族に寄り添う

相談を担当しているひきこもり支援コーディネーターは「今年は新規の相談が増えています」と話します。相談内容に応じて、医療・保健・福祉・就労等の専門機関と連携して進む方向を考えるとともに、当事者や家族に対する支援を行います。

このうち、アクティビティグループは、作業体験や創作活動等の集団活動を実施し、自信の回復や能動性の獲得を目指すグループ活動です。具体的には、月2、3回、事業所や農園での就労体験や陶芸、茶道などの活動をしています。県立精神保健福祉センターの担当者は「農家の皆さんをはじめ地域の方々に理解と協力をいただき感謝しています」と話します。

また、SST(social skills training)は、会話の始め方や自己主張の仕方などを本人の課題に応じて練習するもので、月2回、ロールプレイなどの方法で実施しています。

家族からの相談には、悩みに寄り添い、必要に応じて、医学知識や当事者との関わり方を学ぶ「家族教室」や、お互いに悩みや関わり方などを気楽に話し合うことができる「家族の会」への案内をしています。

だれもが安心して生活できる地域づくり ～市町村、関係機関との連携を強化～

しかし、ケースによってはセンターだけでは解決が難しいものも多くあります。担当者は「当事者や家族にとって身近な

市町村との連携は欠かせません」と話します。このため、間接支援として市町村のサポートに力を入れています。関係機関が参加する支援調整会議を開催し、センターに相談があったケースのうち市町村等につなぐ事例のアセスメント(評価)を行い、連携強化に役立てています。また、市町村担当者の研修等も実施しています。

さらに、「ひきこもりサポーター」(ひきこもりに関する基本的な知識を学び、当事者や家族への見守りや支援活動をする人)の養成のための後方支援を積極的に進めています。県内では山梨市、北杜市が養成に取り組んでいます。県では、地域のサポーターをさらに増やすため、市町村向けのサポーター養成の手引書を作成しました。「市町村によって事情は異なると思いますので、手引書を参考にしてサポーター養成研修に取り組んでいただけたら」と期待しています。

センターでは今後①スーパーバイズ機能の強化②地域の体制づくりへの助言・協力③実践的な研修会の開催④支援調整会議等を通じた支援ネットワークづくり⑤サポーター養成への取り組みの充実を進めていく方針です。

担当者は「地域で、ひきこもりの当事者やご家族への支援の輪が広がっていき、だれでも安心して生活できる地域づくりに向けて活動をしていきたいと思います」と話しています。



ひきこもり地域支援者研修会(基礎研修)の様子

ひきこもり
相談窓口

ご相談はまずこちらに電話を
電話 055-254-7231

受付時間

月～金 午前9時～正午、午後1時～4時
年末年始(12月29日～1月3日)・祝日除く

赤い羽根共同募金街頭募金活動

ご協力ありがとうございました

10月1日～3日の3日間、山梨県社会福祉協議会は、甲府駅周辺で県内の福祉団体・施設の皆様とともに「赤い羽根共同募金街頭募金活動」を行いました。期間中は延べ53団体・169人にご協力をいただき、**199,281円**の募金が集まりました。

この募金は、山梨県共同募金会に届けました。こうした募金は、様々な福祉活動や災害時の支援に役立てられます。皆様の温かいお気持ちをありがとうございました。



令和元年度街頭募金活動参加協力団体

山梨県保育協議会、山梨県視覚障がい者福祉協会、山梨県肢体不自由児協会、山梨立正光生園、山梨県母子寡婦福祉連合会、山梨県自閉症協会、社会福祉法人山梨ライトハウス山梨県盲人福祉センター、社会福祉法人清翔会グレープハウス、山梨県食生活改善推進員連絡協議会、山梨県さずな会、社会福祉法人山梨福祉事業会清山寮、つつじが崎学園保護者会、社会福祉法人子育て・発達の里、ひかりの家学園保護者会、グリーンヒルプロダクツ、(特非)楽しく笑って人生を過ごす山梨手話の会、社会福祉法人ぶどうの里勝沼授産園、障害者支援施設みだいな、社会福祉法人あそびじゅく、スイートベリーKATUYAMA、社会福祉法人高田保育園、ぎんが福祉会おひさま、山梨県民生委員児童委員協議会、社会福祉法人くのみ会くのみ園、山梨県保育所保護者連合会、NPO法人山梨いのちの電話、社会福祉法人愛寿会障害者支援施設第二仁生園、社会福祉法人寿ノ家、光学園、山梨県手をつなぐ育成会、社会福祉法人忠恕会山梨フリナース酒折、山梨県立梨の実寮、支えあう会ピーチ&グレープ、社会福祉法人甲西厚生会軽度老人ホームあやめの里、社会福祉法人善隣会尚古園、NPO法人希会きりあ、障害福祉サービス事業所pal-pak、甲府市ガイドヘルパーボランティアGわの会、NPO法人心音会ぼこあぼこ就労継続支援B型リベルタ、社会福祉法人ぎんが福祉会さららバーカリー、社会福祉法人くのみ会ゆあーずあんどうゆうず、特別養護老人ホーム和告寮、社会福祉法人ぶどうの里石和授産園、特別養護老人ホーム桜井寮、養護老人ホーム春風寮、社会福祉法人いずみ会児童発達支援センターひまわり、あったかおうちカフェの会、にっこりベジ団、社会福祉法人友和会ホト甲斐、山梨県社会福祉協議会 ※複数日参加の団体あり

生活福祉資金貸付事業研修会を開催

山梨県社会福祉協議会は、9月25日(水)に山梨県福祉プラザ大会議室にて「生活福祉資金貸付事業研修会」を開催しました。

市町村社会福祉協議会や自立相談支援機関から27人が参加し、研修会の前半では制度の概要や債権管理の方法、自立相談支援制度との連携など、基礎から実践的な内容まで、制度の仕組みを確認しました。

研修会の後半は、山梨学院短期大学保育科教授の樋川隆さんによる講義と事例検討を行い、生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度が連携した相談支援の方向性や、幅広い相談対応、支援の進め方を考え、様々な地域の担当者が活発に意見交換をしながら学びました。

生活福祉資金貸付事業は、低所得者・障害者・高齢者の世帯に対する資金の貸付と必要な相談支援を行うことであり、経済的自立と生活意欲を助長し、在宅福祉と社会参加を促進して、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

また、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図るものとしています。

県社協では、これからも市町村社会福祉協議会、自立相談支援機関、民生委員・児童委員などの関係者と連携しながら、適切な制度運用を図っていきます。



いきいき山梨ねんりんピック2019

明るく元気で楽しく 世代を超えて交流

爽やかな秋晴れの中、「いきいき山梨ねんりんピック2019」が9月28日(土)に開催されました。

この大会は、スポーツや趣味の交流大会をはじめ、まつりの広場など、高齢者から子どもまで世代間交流を深めることを目的に、甲府市・小瀬スポーツ公園をメイン会場に、毎年開催しています。

オープニングセレモニーでは、参加選手をはじめ、来賓、主催者全員で介護予防にも役立つ「いきいき百歳体操」で身体をほぐしました。



百歳体操



ソフトバレーボール



バウンドテニス



ペタンク



太極拳



碁



神部冬馬さん
コンサート

大会当日は、ジョギングやペタンク、卓球、バウンドテニスなど10種目のスポーツ交流大会が行われ、約4,000人の選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮しました。また、碁や将棋などの趣味の交流大会、太極拳などのふれあいスポーツフェアも行われました。

中銀スタジアム前広場のステージでは、「ねんりんライブ」も行われました。新生保育園の園児による、かわいい楽器演奏から始まり、ことぶきマスターさんたちによるアコーディオン演奏や華やかなフラダンスなどが披露されました。そして今年はシンガーソングライターの神部冬馬さんのミニコンサートもあり、ステージは、大いに盛り上がりました。

また、子どもたちと一緒に参加できる「三世代交流」をテーマに、凧づくり、絵手紙、切り絵、パステルアートなどの体験コーナーや、高齢者の皆さんが教えてくれる昔懐かしい遊び、その他さまざまなイベントを通じて世代を超えた交流を深め、楽しい一日を過ごしました。



福祉車両
展示



工作体験

参加した皆さんの声

ラージボール卓球

山梨県卓球協会副理事長
ラージボール卓球委員会委員長
米山 富士雄さん



ラージボール卓球は、最近ではボールのスピードも速く、非常に競技力が上がっています。高齢者が楽しむことができます。80歳以上の方も熱心に取り組んでいます。

ゲートボール

山梨県老人クラブ連合会会長
浅利 勝往さん



県内各地から多くのチームに参加していただき、交流と親睦をはかっています。決勝が同スコアになり「ゲート通し」で決着するなど熱いプレーも多く、盛り上がりました。

絵手紙

絵手紙クラブ
(左から)飯窪正子さん、小山美津子さん、原朝恵さん



毎年、参加しています。年賀状を絵手紙で出したい、といらっしゃる方が多いですね。草花などのほか、干支の見本も用意しています。きれいな絵手紙ができて楽しい、と喜ばれます。

切り絵細工

小佐野 公夫さん



子どもから高齢者まで切り絵細工は楽しめます。初心者にもできるように型紙を用意しています。きれいに出来ると、うれしそうですね。手先を使うのでリハビリにもいいと思います。高齢者の福祉施設などにも行きますが、皆さん熱心に取り組み、喜んでいただいています。

将棋

日本将棋連盟
山梨県支部連合会会長
小池 正夫さん



最近の将棋ブームもあって、子どもたちにも人気が出ています。将棋は定跡もありますが、自由度が高いため、子どもから大人まで脳の活性化に役立ちます。老若男女関係なく楽しむことができます。将棋を通していろいろな人と出会い、友達になり、世界が広がります。将棋の魅力を多くの方に知っていただきたいと思っています。

第32回全国健康福祉祭 和歌山大会

ねんりんピック 紀の国わかやま2019

～あふれる情熱はじける笑顔～



大会マスコット きいちちゃん

スポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図ることを目的に、「第32回全国健康福祉祭和歌山大会」が、11月9日(土)から12日(火)までの4日間、和歌山県内の各市町村を会場に開催されました。

山梨県からは芦澤敏久団長(県社会福祉協議会会長)をはじめ145人が参加し、20種目の競技に参加しました。

開会式当日は雲一つない晴天に恵まれ、旗手の松本弘さん(水泳)を先頭に、芦澤団長は武田信玄公の軍配を、また選手は、風林火山の手旗を高々と掲げ、「甲斐の国・山梨」をアピールしながら元気あふれる入場行進を行いました。

各競技の県勢の成績はサッカー大会で優勝した他、いくつかの種目で個人優勝や上位入賞、また健康長寿のあかしである最高齢者賞を受賞し、日頃の練習

の成果を発揮するとともに、スポーツを通じ、他県の選手との交流を深めました。また、文化交流の美術展にも本県の代表作品を出品し、洋画の部で銅賞、工芸の部で最高齢者賞を受賞しました。



総合開会式

山梨県選手団入場



サッカー(Gブロック)優勝の山梨シニアサッカークラブ



ソフトバレーボールのclub kaiチーム



ペタンクの甲斐駒チーム



なぎなた山梨県チーム



ウォークラリーの甲斐楽遊チーム



総合開会式

第32回全国健康福祉祭 和歌山大会 山梨県勢の主な成績

優 勝	サッカー(Gブロック)	山梨シニアサッカークラブ
優 勝	ゴルフ(団体戦)	チームやまなし
優 勝	ゴルフ(個人戦 70歳以上)	高城 正男(甲斐市 70歳)
優 勝	水泳(25m バタフライ 80歳以上の部 男子)	松本 弘(中央市 83歳)
優 勝	水泳(50m バタフライ 80歳以上の部 男子)	松本 弘(中央市 83歳)
準 優 勝	ゴルフ(個人戦 60~64歳の部)	赤池 祐三(北杜市 64歳)
準 優 勝	水泳(50m 自由形 80歳以上 男子)	水上 光男(山梨市 80歳)
第 3 位	水泳(100m 混合フリーリレー 281歳以上の部)	山梨県水泳チーム
第 3 位	水泳(25m 自由形 80歳以上の部 男子)	水上 光生(山梨市 80歳)
第 3 位	水泳(50m 自由形 70~74歳の部 女子)	河島 京子(甲斐市 70歳)
優 秀 賞	卓球(1位リーグ Fブロック 1位)	風林火山
優 秀 賞	ペタンク	甲斐駒
優 秀 賞	なぎなた(演技競技)	山梨県チーム
優 秀 賞	ウォークラリー	甲斐楽遊
優 秀 賞	ソフトバレーボール(2位リーグ1位)	club kai
優 秀 賞	囲碁(個人戦 うばめがし)	内藤 富明(南アルプス市 80歳)
優 秀 賞	グラウンド・ゴルフ(男性の部)	望月 守男(富士川町 79歳)
優 秀 賞	マラソン(10km 70歳以上 女子)	土屋 知子(甲斐市 72歳)
優 秀 賞	マラソン(3km 70歳以上 女子)	藤巻 順子(中央市 70歳)
特 別 賞	オリエンテーリング(女子最高齢者賞)	山本 尚子(北杜市 77歳)
特 別 賞	オリエンテーリング(男子高齢者賞)	山本 茂弘(北杜市 77歳)
特 別 賞	ウォークラリー(女子最高齢者賞)	中野 布久次(甲府市 87歳)
●美術展		
銅 賞	洋画の部	田代 真由美(76歳)
最高齢者賞	工芸の部(男子最高齢者賞)	望月 弘明(95歳)

Goods

福祉用具紹介
あると便利なグッズたち

車いす用クッション

車椅子用ピタットクッション 介護椅子用ピタットクッション

■ 価格 19,800円(税別)

一般的な車いすにジャストフィットするように設計された車いす用クッションです。車いすの両サイドと背面から体幹をサポートし、長時間の座位保持のとき、車いすでの移動や食事のときにふらつきを抑える効果があります。

車いすに置くだけでセットできます。面倒な調整がなく、リバーシブル仕様なのでどなたでも簡単にセットできます。また、向きを変えて設置することでホールド性の高い座布団としてもご利用でき、座面高を上げることができます。

また、姉妹品の介護椅子用ピタットクッションは車椅子用ピタットクッションと同様に使用でき、高齢者だけでなくお子様や小柄な方、上半身を支える力の弱い方にご利用いただけます。

いずれも、難燃性で防汚機能を持ち、汚れたときは塩素系もしくはアルコール系の洗剤で拭き取ることができます。色はピンクのほか、ベージュとグリーンがあります。興味のある方は、是非展示室にお立ち寄りいただき実際にお試しく下さい。



車椅子用
ピタットクッション



【使用例】
車椅子用
ピタットクッション



【使用例】
介護椅子用
ピタットクッション



Check Point

車いすでの移動や食事のときにふらつく方や座位時に上半身を支える力の弱い方にお勧めです。福祉用具貸与(車椅子用ピタットクッション)があります。

ソウェルクラブ

(福利厚生センター) **ご加入のおすすめ**

新規会員 募集中!

\\ 会員数 268,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク ●国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈 ●海外研修
- 広報講習会 ●接遇講習会
- レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会
- OJTスキルアップ講習会
- デイズニーアカデミー
- コンプライアンス講習
- e-ラーニング
- 〔 Excel, Word, PowerPoint, コンプライアンス, メンタルヘルス 〕

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業(※)を経営する者
 - ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業(※)
 - ・加入対象者…上記事業に従事する役職員全員(非常勤職員含む)
- ※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
 - ・第2種会員(非常勤職員向け) … 毎年度5万円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、**TEL ☎0120-292-711**
フリーダイヤル **FAX ☎0120-292-722**



http://www.sowel.or.jp/
社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング

全国約75,000か所の施設を割引価格で利用できる

ソウェルクラブ “クラブオフ”

NPO法人支援!! 実務講座開催! (報告)

NPO法人実務講座 ～広報・会計編～

令和元年9月14日(土)に、山梨県立中小企業人材開発センター研修室にて開催しました。午前と午後の2コースに分けて実施し、午前のAコースには32名、午後のBコースには28名の方が参加しました。

Aコースでは、「NPO法人会計講座～初級編」と題し、特定非営利活動法人税理士による公益活動サポートセンターの松永由美子税理士に、NPO法により会計報告の情報公開が義務付けられていることやその公告方法などの確認や日々の流れとしての現金・預金の管理方法や領収書の管理についてなどの講義をしていただき



講座の様子(会計編)

きました。参加者からは、「中級編、上級編も開催してほしい」「これまで経理担当者に任せきりであったが、少し理解できたので実務にも取り組んでいきたい」との声も寄せられました。

Bコースでは、「広報の仕方～伝えるコツ・集めるコツ～」と題し、ITコーディネーターの内藤一さんに、情報発信のコツとして、「経営の三輪車」の理解や「読まれる文章」のポイント、法人の存在理由を明文化する方法などの講義をしていただきました。参加者からは、「良いヒントをもらえました」「広報するイメージが合っていたので、今回の内容を参考にして具体的に取り組んでいきたい」との声も寄せられました。



講座の様子(広報編)

認定NPO法人実務講座 ～寄付金の処理について～

令和元年9月28日(土)に、小瀬陸上競技場会議室にて開催し、20名の方が参加しました。

講座内容については、「認定NPO法人実務講座～寄付金の処理について～」と題し、特定非営利活動法人税理士による公益活動サポートセンターの植松三文税理士に、認定NPO法人制度の概要や寄附手法と会計処理の具体例についてなどの講義をしていただきました。参加者からは、「分かりやすい講義で、大変参考になった」との声も寄せられました。

また、講義後に情報交換会を行い、「認定NPO法人の運営の実際」と題し、植松税理士と認定NPO法人の3団体の方々に登壇いただき、参加者から認定NPO法人の取得方法や寄付の集め方などの質問に対し、それぞれの実情についてお話していただきました。参加者からは、「他の団体の話を聞く機会があまりないので参考になった」との声も寄せられました。

これからも、NPO法人の運営を支援していきます。

山梨県ボランティア・NPOセンター

【住所】 甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階

【電話】 055-224-2941

【開館】 火曜日～金曜日は、9時から21時まで。土曜日と日曜日は、9時から17時まで。

休館日は、毎週月曜日、祝日、年末年始。

(月曜日が祝日の場合は、翌日火曜日も休館)

【HP】 やまなしNPO情報ネット

⇒<https://www.yamanashi-nponet.jp/>



やまなしNPO情報ネット▶

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

保険金額・年間保険料(1名あたり)

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)		
年間保険料	基本タイプ	350円	510円	
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円	

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者〔個人〕を含みます。)全員のケガを補償
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外 サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



善意をありがとう

車いす用体重計と福祉巡回車の寄贈

一般社団法人生命保険協会山梨県協会(森末直樹会長)様より、車いす用体重計1台を、社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会山梨県立育精福祉センター成人寮へ、福祉巡回車を忍野村社会福祉協議会と北杜市社会福祉協議会へ1台ずつ計2台を寄贈いただきました。贈呈式では、生命保険協会山梨県協会の高橋剛志副会長様にご出席いただき、車いす体重計、福祉巡回車の贈呈をいただきました。

生命保険協会山梨県協会は、CR(コミュニティ・リレーションズ)活動として、平成4年度より会員各社で「ふれあい募金」を実施し、集められた浄財を原資にして、車いす用体重計と福祉巡回車を寄贈いただいています。

車いす用体重計の寄贈は今年で7年連続7台目、福祉巡回車は今年で28年連続で50台となりました。ありがとうございました。



タオルの寄贈

フコク生命甲府支社外野倶楽部(依田ゆかり会長・写真左から3人目)様より、営業職の皆様のご善意の込められた未使用タオル167枚を寄贈いただきました。

社会貢献活動の一環として、寄贈いただいたタオルは、社会福祉協議会の高齢者向け福祉サービス等において有効活用させていただきます。ありがとうございました。



広報紙「やまなしの福祉」をパソコンやタブレットで閲覧

広報紙「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

1月号は以下の通りです。

1月号のID
yfukushi351

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

共済の自動車共済

団体割引10% 福祉施設割引10%

*団体割引は共済契約者、被共済者が当組合の規定を満たす場合のみ、台数規模と損害率により決定し、毎年見直されます。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部 甲府市飯田4-4-2 TEL.055-237-8331 FAX 055-237-8332

いきいき山梨ねんりんピック2020 山梨県シルバー俳句大会 俳句作品募集

いきいき山梨ねんりんピックの一環として開催している山梨県シルバー俳句大会の作品を募集します。

【応募資格】 山梨県内在住の60歳以上(昭和36年4月1日以前に生まれた方)のアマチュア

【応募方法】 ハガキに未発表作品1人2句以内(雑詠)を楷書で記入し、必要事項(住所・氏名・生年月日・年齢・性別・電話番号)を明記のうえ、応募期限までに送付。投句料は無料。

【留意事項】 俳句作品・氏名等の漢字には必ずふりがなを付け、楷書にて誤字・脱字のないよう記入。また、筆名使用の場合は、必ず本名も併記すること。

【応募期限】 2020年3月17日(火)(当日消印有効)

【応募・問合せ先】 〒400-0005 甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ4階 山梨県社会福祉協議会 福祉振興課内 山梨県シルバー俳句大会係 宛 ☎055-254-8610

地域別小規模就職相談会を開催します

地域を限定して仕事を探したいあなたを応援します。参加費、事前申し込みは不要です。

【日程】 令和2年1月27日(月)13:30~15:30 対象エリア:峡南・南アルプスエリア
令和2年2月25日(火)13:30~15:30 対象エリア:峡中(南アルプス市を除く)

【会場】 山梨県福祉プラザ4階会議室 (甲府市北新1-2-12)

※参加事業所は、各開催日1週間前より山梨県社会福祉協議会ホームページに掲載します。
※詳細についてはお問い合わせください。

問い合わせ 福祉人材センター ☎055-254-8654

http://www.y-fukushi.or.jp/renew/work_learn/community-based.html



読者アンケートのお願い

今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、ぜひご協力ください。

問1 「やまなしの福祉」の内容はいかがでしたか?

- 読みやすさ ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満
- 色・文字の大きさ ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満
- 記事の内容 ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満
- 全体満足度 ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

問2 興味を持った記事を3つ教えてください。

問3 広報紙「やまなしの福祉」で取り上げてほしい内容や広報紙に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

FAX・はがき・メールでご回答ください

【宛先】 〒400-0005 甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ4階 山梨県社会福祉協議会 総務企画課 FAX 055-254-8614

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp/>

※右記QRコードからも回答できます

